

振り返ってみると、今まで携わらせていただいたプロジェクトの全ては主が扉を開いてくださらなければ成し遂げられなかったことばかりでした。字幕制作の許可を頂いたミニストーリー団体は現在 20 団体以上になり、YouTube のチャンネル登録者数も短期間に 1000 を越え、この「神にしかできない成果」を見ることによって自分たちも神を崇め体験したいという思いがさらに強められたのです。もちろん失敗もありましたが、学んだことは、この世の常識と霊である神の導きはほとんど正反対であるということでした。神の導きによって何か新しいことをする時には、「この世」の人々から反対され、攻撃を受けたり理解されない時があります。自分たちでも世の常識に従うか、聖霊の小さな声の導きを信頼するのか迷う時もありました。信仰によってその一步を踏み出すのですが、いつも最初の一步にはある種の「恐れ」が伴うことを体験しました。そして、その一瞬一瞬の選択をするときは、常に「神と自分だけ」になるということも体験しました。だからこそ、日々の神との交わりの中から確信をいただいて「信仰によって歩み出す」ことがとても重要だと思います。

リーハイバレー・ジャパニーズ・ミニストーリーズの歴史は 2006 年に遡ります。ペンシルバニア州のリーハイバレーという地域に、3 人の日本人クリスチャンを神が引き合わせてくださり、そこから婦人たちによる日本語の聖書の勉強会を始めたことがきっかけとなりました。同地域に住む日本人駐在員の奥様方がその勉強会に訪れるようになり、3 年間で 10 人以上の方がイエスさまを主として受け入れたのです。2009 年には地域に日本人教会を建てるという声もあがり、定期的に集会が行われるようになりましたが、50 人いるかないかの日本人人口では成長が難しく、2011 年には集会も無くなってしまいました。その後 2 年間、再び婦人だけの聖書の勉強会を続けてまいりました。ある時、その婦人の一人がペンシルバニア州で行われたグローバルアウェイクニング (<https://globalawakening.com/>) というミニストーリー主催の「預言者の声 (Voice of



Prophets) 」という聖会に参加し、そこで「翻訳！翻訳！」という声を聞きながら日本列島を横断していくというビジョンを預言者から語られたのです。またもう一人の婦人も夢で方向性を示され、2013年にそのビジョンと夢を握り、より多くの人に福音を届けることができるようにと、3人でメディアミニストリーを立ち上げることになったのです。

ミニストリーを立ち上げたものの、何を翻訳すればよいか分からず迷っていたところ、2013年の8月にあるご夫妻が私たちのミニストリーのために祈りたいと申し出てくれたので、何の題材を翻訳したらよいか祈ってほしいと頼みました。すると3日後に現在のミニストリーのパートナーでもあるピュアパッション・ミニストリー

(<http://www.purepassion.us/>) の創始者のデイビッド・カイル・フォスター氏より、正式な仕事として翻訳の依頼が入ったのです。実はその2年ほど前から、ピュア・パッションのテレビ番組を見て大変感動し、個人的に4本の番組に字幕を付ける作業を奉仕でさせて頂いていたのでした。この番組はおもに人間の性の問題に焦点を当てたものだったので、ミニストリーとして番組に日本語字幕を付けていくということは、なかなか勇気のいるものでした。誤解を恐れて「もっと一般的に受け入れやすい題材を翻訳してはどうか」という声も上がりましたが、そのような誰もが受け入れる翻訳をする方は、日本のキリスト教界でもたくさんいるのではないかと、でも私たちは誰もが触れたくないような領域にも踏み込んで、そこに光を当てていく必要があるのでは、という使命を感じたのです。ですから、私たちが翻訳する題材は、人間の性、魔術や占い・スピリチュアリズムや超能力などのオカルト関係、イスラム教などの他宗教からの救いの証など、教会が表立っては語りたくないけれど、誰かが語らなければならないトピックが中心なのです。

2014年は転機の年となり、創設当時からいたスタッフがミニストリーを去りました。しかし神は与え主でした。一ヶ月もしない間に日本人と韓国人の新しいスタッフが与えら



れ、全ての面で霊的な一致が与えられ、日本語だけでなく韓国語での翻訳もスタートしたのです。また、ザ・センター・リーハイバレー（旧エル・シャダイ・ベツレヘム・ミニストリーズ）（<https://www.thecenterlehighvalley.org/>）の霊的覆いの下に入ることができ、霊的なバックアップも与えられました。

字幕をつけるスピードも上がり、チャンネル登録者数がどんどん増え始めた矢先、誰かが性的人身売買や性教育のビデオに対する苦情を YouTube に寄せたので、それによって私たちのアカウントが閉鎖されてしまうという出来事が起きました。どこに問い合わせてもきちんとした返答をもらえず、それまでの登録者に連絡を取る術もありません。新しいアカウントを作り直すべきか、どうしたらいいかと祈っていたところ、某メディアの大会社に務める知り合いの弁護士が Google（YouTube は Google が経営）の上層部の方に連絡してくださり、数週間後、私たちのアカウントがまた復活したのです。この弁護士の方は同性愛の生活をされている方だったので、私たちのチャンネルが復活するように働きかけてくださったことは意外なことでした。彼らが私たちのチャンネルにあるメッセージを見たかどうかはわかりませんが、神様は、主の使命を全うするためには、どんな人も用いられるのだと思ったのです。

その後、映画の字幕翻訳や、XP メディアやシド・ロス・ショーのようなクリスチャンホスト番組の字幕の翻訳に携わる道が開け、また 2 冊の本の翻訳・出版も手がけることができました。

また現在、ピュア・パッションのビデオを利用した英会話教材の開発も手がけるように導かれております。これは、英会話の勉強と称して伝道のツールとして用いてもらうこともでき、青少年に、性を聖書的に教える頼もしい教材となります。大人にもポルノを観ることの危険性を伝え、罪からの解放や、肉体の聖めのみならず魂の聖めについても教えるものです。特に性教育は親が恥ずかしくて子にできないという方が多いので、この教材を用



いて若者たちの中に「聖め」が広がることを祈っています。

「兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。」(黙示録 12:11)とあるように、個人的な証には人々を励まし、祝福し、変える力があります。個人的なイエスとの体験を人は否定することができないからです。ですから、そのような力強い証にはどんどん日本語字幕を付けていきたいと思っています。

敵が映画、テレビ、出版物、音楽などメディアを使って猛毒を撒き散らしているこの領域に、積極的にクリスチャンのビデオ・映画・書籍などを通して「主の聖め」を流し込んでいき、この世の「メディアの山」を勝ち取っていくのがこのミニストリーの目的です。

「わたしの民は知識がないので滅ぼされる」(ホセア 4:6)とあるように、日本にいるクリスチャンを建て上げ、より多くの魂を御国に導くには、人間の常識による妥協や理解ではなく、聖書そのものからくる希釈されていない真理の知識が必要です。ですからそれを裏付ける世界中の人の証は必要不可欠なのです。

現在は日本語が中心ですが、このミニストリーは「日本人の救い」だけが目的のミニストリーではありません。日本在住のフィリピン人やポーランド人からミニストリーに連絡をいただいたり、アメリカ以外の英語圏に住んでいる日本人から連絡をいただくこともあります。また日本人の友達に伝道をしたいという外国人から連絡をいただくこともあります。インターネットによって、世界中の人と繋がることのできる世の中、私たち一人ひとりが、今置かれている場所で、職場で、与えられた賜物を使ってどのように神に用いていただくかを、地球レベルで考えていきたいと思っています。

与えられている仕事を忠実にこなしていくことはもちろんですが、今後はタイ・カンボジア・インドネシア・イラン(ペルシャ語)・フィリピン(タガログ語)などの言語に展開でき



ればと祈っております。しかし全てのことを「権勢によらず、能力によらず、神の霊によって」（ザカリヤ 4:6）行っていくことを常に忘れてはなりません。全てが神の力で成され、全ての栄光がその働き手ではなく、神に帰されることが重要だからです。

翻訳ビデオなどによって人生が変えられたこと、恵みを受けたことなどを分かち合ってくださいと、私たちスタッフも励まされます。今後ともお祈りに覚え、サポートしてくださいと幸いです。

